



▲参議院議員選挙全国比例代表の全国農政連推薦候補藤木しんや氏（左は奥様）

「藤木しんや後援会」

事務所開き & 総決起集会が開催される！

県農政連と「藤木しんや後援会」は、4月10日熊本市内にて、「事務所開き&総決起集会」を開催しました。参加者はJAグループ、連合会、農林漁業団体、国会議員等1,100名を超える会場は熱気に包まれました。

まず、宮本隆幸農政連副委員長の開会宣言で幕を開けました。

開会の挨拶で、梅田穰農政連委員長は藤木氏を推薦した経過を述べ「藤木氏は、一貫して農業に携わり、また全国・県内JAグループの青壮年部代表を始めとして、理事を経て現在JAかみましき組合長であり、協同組合活動にも積極的に取り組んで来た。農林漁業者の声を代弁するに最もふさわしい人物である」と、参集した人々のさらなる熱い支援を訴えました。

次に、来賓挨拶で次の7名の方が藤木氏への激励と強い期待を述べました。

- 自民党県連代表 前川 収 幹事長
- 地元選出国会議員代表 野田 毅 衆議院議員
- 松村祥史 参議院議員
- 加倉井豊邦 全国農政連会長
- 伊東昭正 県商工政治連盟会長
- 新規農業後継者代表 吉村翔陽氏
- 寺本眞理子 JA熊本県女性組織協議会長



そして、万来の拍手をもって迎えられた「藤木しんや氏」が力強く決意表明を行い、今後増々の支援を訴えました。

決意表明の要旨

本日、これだけの多くの方々にお集りいただき、またご来賓の方々の心温まる激励と期待の言葉を拝聴し、改めて感謝申し上げますとともに身が引き締まる思いです。

全国各地で支援を訴えてまわる中で、TPP問題が情報開示がないまま進む状況に、農家は大きな不安を抱いていると強く実感します。熊本県は、企業の発展も必要ですが、まずは第一次産業が守られないことには成長ができません。若い人が後継者として、職業として農業を意欲をもって継げる環境を今から作っておくことが大変重要だと考えています。特に今、TPP大筋合意後の国内対策が議論されています。しっかりと経営安定対策をすべての品目に設定することに力を注ぐべきだと考えます。

農村と都市との均衡ある発展を図り、第一次産業と中山間地を含んだ地域社会を守るため、みなさんの声の代弁者となる覚悟でありますので、一人一人の力を結集してご支援くださいますようお願いいたします。



▲決意表明する藤木しんや氏



▲力強くガンバロウ三唱

次に、善積智晃JA青壮年部委員長が今後さらに、農政活動に一致団結して最大限の力を発揮することを誓い、会場の皆様と一緒に「ガンバロウ三唱」を行いました。

最後に、吉田孝壽酪政連委員長の閉会挨拶により、盛会の内に総決起集会が終了しました。



▲散会する方にお礼と握手をする藤木夫妻